

岐阜県セラミックス研究所



釉薬を使用しないエコな飲食器を開発

セルフグレーズ化した飲食器の開発

技術分野分類 5403：無機工業材料

技術キーワード セラミックス

産業分類 E-21：窯業・土石製品製造業

内 容	概要	原料坯土中にアルカリ成分を通常の磁器製品よりも多く含ませることで、素焼きや施釉工程を行わず、一度の焼成で表面に光沢を持つセルフグレーズ化磁器の製造技術の開発及び商品化に成功した。
	従来技術・競合技術との比較(優位性)	従来のセルフグレーズ技術(パリアン磁器等)は表面の光沢化と焼成時の軟化変形の制御が難しく、窯の中の温度を管理する必要があった。そのため量産化は難しかった。本研究では、焼成変形をある程度抑制するとともにローラーマシンおよび圧力鉄込み成形法で作製可能なセルフグレーズ化磁器坯土の調合を見出した。
	本技術の有用性	開発したセルフグレーズ化技術は、従来の本焼成の焼成条件が適用可能であり、焼成工程の簡略化(素焼き工程が不要)によるエネルギーコスト削減が可能である。加えて、施釉では難しい明瞭なリーフ表現等の従来と異なる質感を表現することが可能である。
関連情報 (図・表・写真等)		
図 本研究開発で試作したセルフグレーズ化製品のサンプル		
適用可能製品		飲食器類またはランプシェードなどの装飾品
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	安達 直己 岐阜県セラミックス研究所 専門研究員
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	岐阜県セラミックス研究所 技術支援部 0572-22-5381 / 0572-25-1162 info@ceram.rd.pref.gifu.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2017年11月22日